

①熱塩加納村の農家のうつりかわり

熱塩加納村の農家の数は、まい年少しずつへっています。むかしの農作業は手作業が中心で、多くの人手がかかりましたが、きかいが使われるようになると、手間がかからなくなり、農業のほかに、べつの仕事をして収入を得ようとする農家（兼業農家）がしだいにふえてきました。

また、農作業に必要なきかいは、お金もかかり、農業の収入だけでは生活がむずかしくなってきたことや、農業のあとをつぐ人が少なくなってきたこと、それにお米のねだんが思うようにならないことなども、兼業農家がふえてきた理由としてあげられます。

専業農家と兼業農家のうつりかわり

	専業	第1種兼業	第2種兼業
昭和35年	24.3	48.7	27
40年	19.4	41.2	39.4
50年	7.6	41.1	51.3
60年	9.1	24.9	66.0
平成 2年	10.1	13.7	76.2
7年	10.6	17.9	71.5

(単位%)

(平成7年農業センサスより)

専業農家…農業からの収入だけで生活している。

兼業農家…農業とほかの仕事で働いて収入を得ている。

第1種兼業農家…農業の収入の方が多い。第2種兼業農家…農業以外の収入の方が多い。